

あとがき

昭和35年夏、大峯山脈全山縦走を成した部員により、当時、離島、避地調査が主体であった関大探検部に技術研究会が同年9月に発足した。以来この技研から洞窟、ポート、潜水の各パートが独立しながらも部内外の御支援を得て成長し、技研は山岳パートの性格を持つようになった。

ここに10年の足跡をふりかえり、私たちに寄せられた多くの方々に特に今回のアラスカ遠征に際し賜った御援助に少しでもお返しできたならと、この小書に記録を整理するものです。

「アラスカへの道」となった私共の活動は北アルプスが主要な地であった。夏の場合は特に黒部川とその周辺に赤石沢、三面川を除きほとんど集中した。しかし、積雪期の活動は北鎌、槍一穂にとどまらず、知床、利尻、屋久島、中アと多様であった。またこの間にペルー・アンデスやミンドロ島にも会員を送った。

そして昨71年6月アラスカに遠征隊を送ることになった。アラスカでは突然飛行機事故にあったが、ヘイズ峰の南東に続く5つの峰に登頂し全員無事帰国することができた。

なお、アラスカで登頂に成功した5つの峰のうち、私共が「マウント・センリⅠⅡⅢ峰」と仮称した峰々には既に記録がある。私共の一部の発表を訂正させていただきますとともに関係各方面、特にアメリカ、ハーバード登山部に深謝します。

また、この機会にアラスカ遠征隊を送り出すにあたっていろいろお世話をいたいた委員会の各位、装備・食糧・資金などで多大なご援助を賜わった関係各位、ならびに現地および国内でいろいろ御配慮いただいた方々のご厚情にあらためてお礼申し上げます。

1972年3月1日

関西大学探検部アラスカ遠征隊一同

奥付

—アラスカへの道＜非売品＞—

関西大学探検部技術研究会 10 年史

昭和 47 年 3 月 31 日 発行

発行者 関西大学探検部技術研究会

部長 杉 原 弘 人

編集者 10 年史編集委員

発行所 大阪府吹田市千里山

関西大学探検部

印刷所 有限会社只限印刷

—Road to Alaska—